



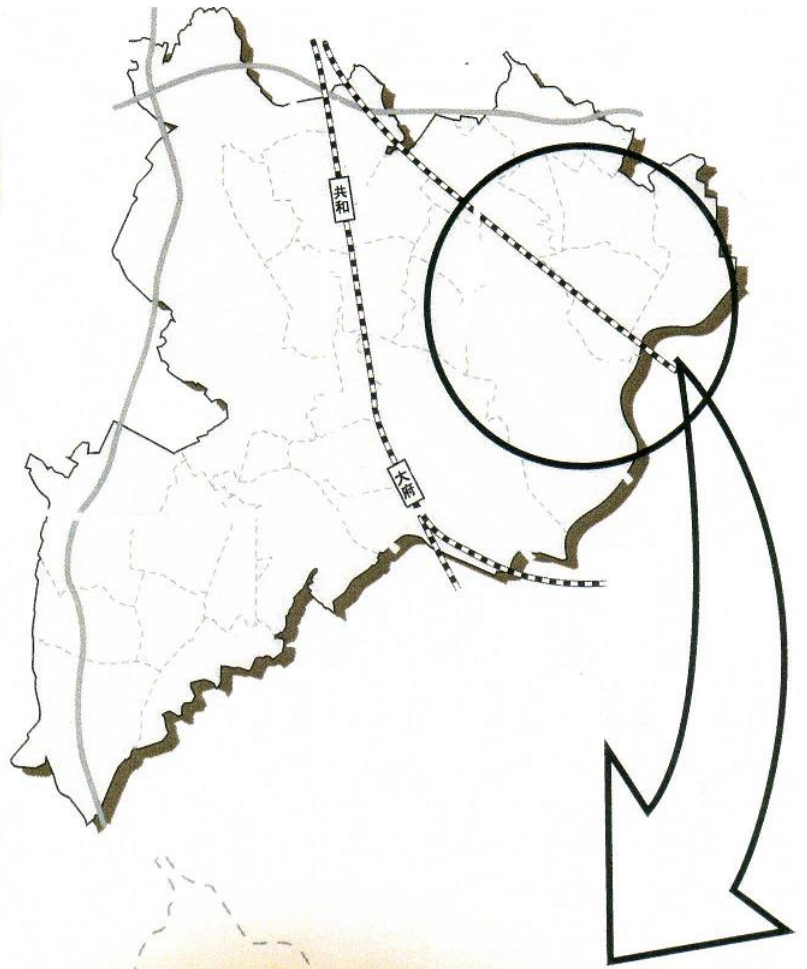
ふるさとガイドおおぶ

神田

C
コース

大 府 市 地 図

- ① 藤井神社
- ② 明神樋門
- ③ 普門寺
- ④ 極楽寺
- ⑤ 賢聖院
- ⑥ 山之神社
- ⑦ 五箇村川と改修之碑
- ⑧ 神明社
- ⑨ 光善寺
- ⑩ 早川ぶどう園
- ⑪ ニツ池公園
- ⑫ 至学館大学
- ⑬ 大府みどり公園



モデルコース

【A】③ 普門寺 → ② 明神樋門 → ① 藤井神社 → 近隣名所

【B】⑩ 早川ぶどう園 → ⑪ ニツ池公園 → ⑫ 至学館大学 → 近隣名所

【C】⑦ 五箇村川 → ⑤ 賢聖院 → ⑥ 山之神社 → 近隣名所

【D】⑦ 五箇村川 → ⑧ 神明社 → ⑨ 光善寺 → 近隣名所

【E】⑬ 大府みどり公園

極楽寺

ごくらくじ



▲本堂

御本尊 無量寿仏(阿弥陀如来)

脇座 観音菩薩 勢至菩薩

浄土宗 山号 法蔵山

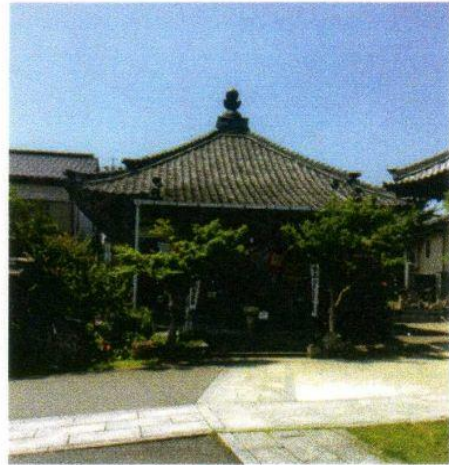
知多四国霊場二番札所

当山は元和6年(1620)養譽善栄比丘の創建で当時は善導寺(東浦町)道場山と号した。天和2年(1682)第六世建蓮社超譽吞説和尚が開山した。

現在の本堂は文政5年(1822)11月 桁六間奥行六間寄棟造瓦葺で建立された。

文政7年(1824)亮山阿闍梨により新四国八十八ヶ所の第二番札所が開創された。弘法堂は大正7年(1918)本堂前南側に独立して建てられた。弘法堂には県内の信者の寄進による、千体の大師像が並び千体弘法を祀る。これほどの像を所蔵するのは珍しい。

弘法堂の隣に等身の来迎観音像がある。



▲弘法堂

賢聖院

けんしょういん



▲賢聖院本堂

御本尊 釈迦如来

曹洞宗 山号 北島山

大府七福神(布袋尊)



▲山門

当寺に所蔵する「諸記録」によれば創建は永禄7年(1564)3月、開基甚入昌徹によって開創され、快翁竜喜の開山である。その後、弘化2年(1845)11月22日に曹山智洞が住持になると、本堂・庫裡などを再建し、明治13年には、叢翁鉤玄を法地開山に勧請した。なお、現在の本堂は明治13年に再建された。

観音堂は文政11年(1828)に再建されたもので、三間半四方の寄棟造りとなっており、行基菩薩の作と伝えられる本像の観世音菩薩を安置している。

寺宝として鰐口(江戸時代)を所蔵している。

山之神社

やまのかみしや



▲山之神社



▲山車

祭神は、大山祇命を祀る。

境内社 神殿社・神明社・英霊社

創建の年代は不詳であるが、元和9年(1623)当資島(現在の篠島)より移住した浜島次郎衛門により、翌寛永元年(1624)氏神として創祀されたと伝えられている。

本殿は文化3年(1804)の新築で、以前は、ほこら(小さい社殿)であった。現在の本殿は昭和16年(1941)の改築で神明造りになった。

山之神社で行われる祭礼を盛り上げている山車は、高さ5.8mで寛政12年(1800)に初めて造られ、その後何度か新調され、現存するのは安政4年(1857)頃のもの。部品保管箱にその年代が墨書されている。知多型の山車でも独特な形態を示すと指摘されるものである。

山車 (市有形民俗文化財)

ご か そん がわ かい しゅう の ひ 五箇村川と改修之碑



▲五箇村川と樋門



▲五箇村川改修之碑

東阿野・大脇(豊明市)から、近崎・北尾・横根・大府を通り、石ヶ瀬より境川に入る排水路である。五ヶ村川の流域一帯はかつて衣ヶ浦の入江であったが、上流や左右の高所より運ばれた土砂でやがて壁地となり新田が開発された。

延宝5年(1677)境川の川底が高くなり、雨降りには新田だけでなく本田までも稲が水につかるようになった。北尾・近崎・横根・大脇・東阿野の諸村は、境川に沿って人工的に悪水を流す悪水路(排水路)の開削を始めた。大府市域ではそれに伴い境川に流れ落ちる大坪(今はない)・皆瀬・明神・砂川の諸河川の下に樋門を築く難工事であった。川流域には、当初七か所の樋門があり、現在では4ヶ所(皆瀬・明神・砂川・石ヶ瀬)となっている。

明治26年(1893)7月に五箇村川改修之碑が建碑された。

※浜島弥寿七氏の貢献による。